

I. アリゾナオートルータ補足

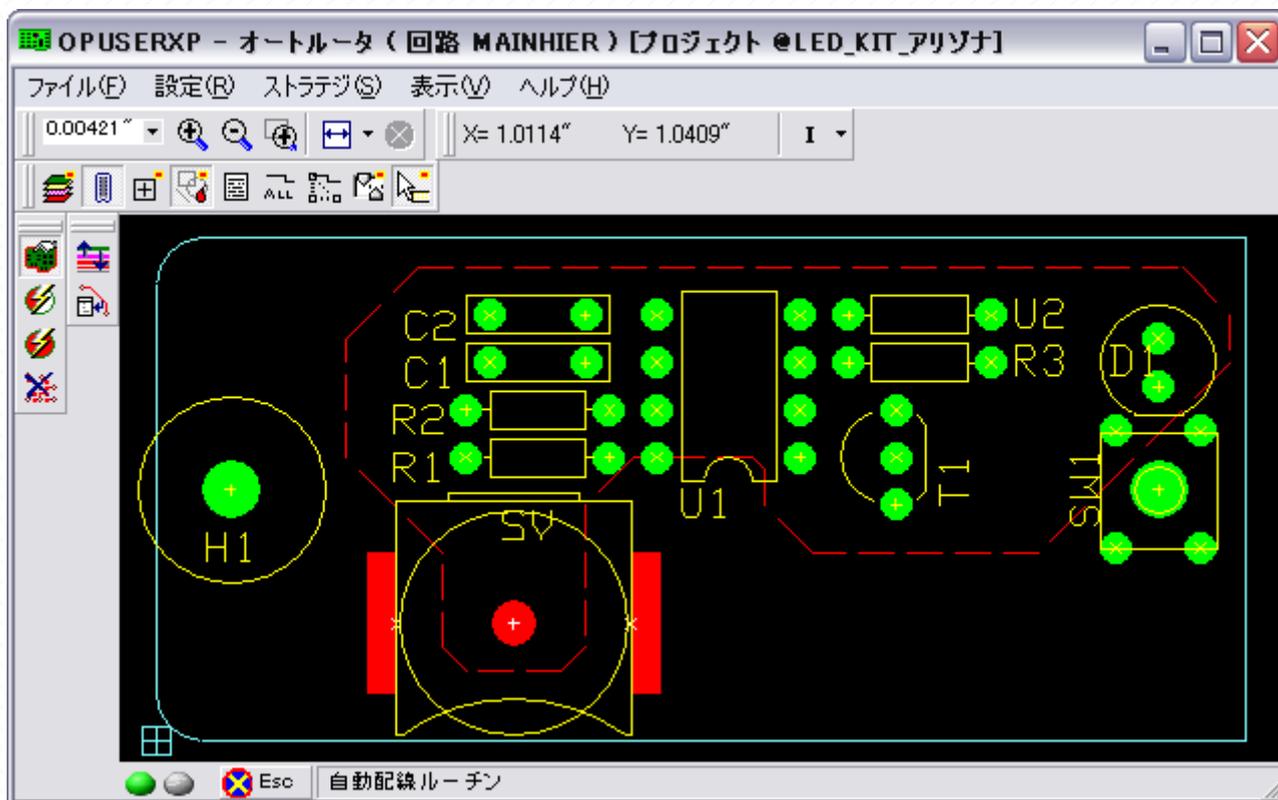
アリゾナオートルータでは、配線方向、配線コストを設定することで、作成されるパターンを調整することができますが、予め重要な箇所のパターンを作成した状態でアリゾナオートルータを使用する事でより、より理想のパターンへと近づける事ができます。

下図の基板をはんだ面だけのパターン配線接続を行います。

- ・配線方向の変更
- ・重要なパターンを作成した状態での実行

により、結果にどのような違いがでるか図で示します。

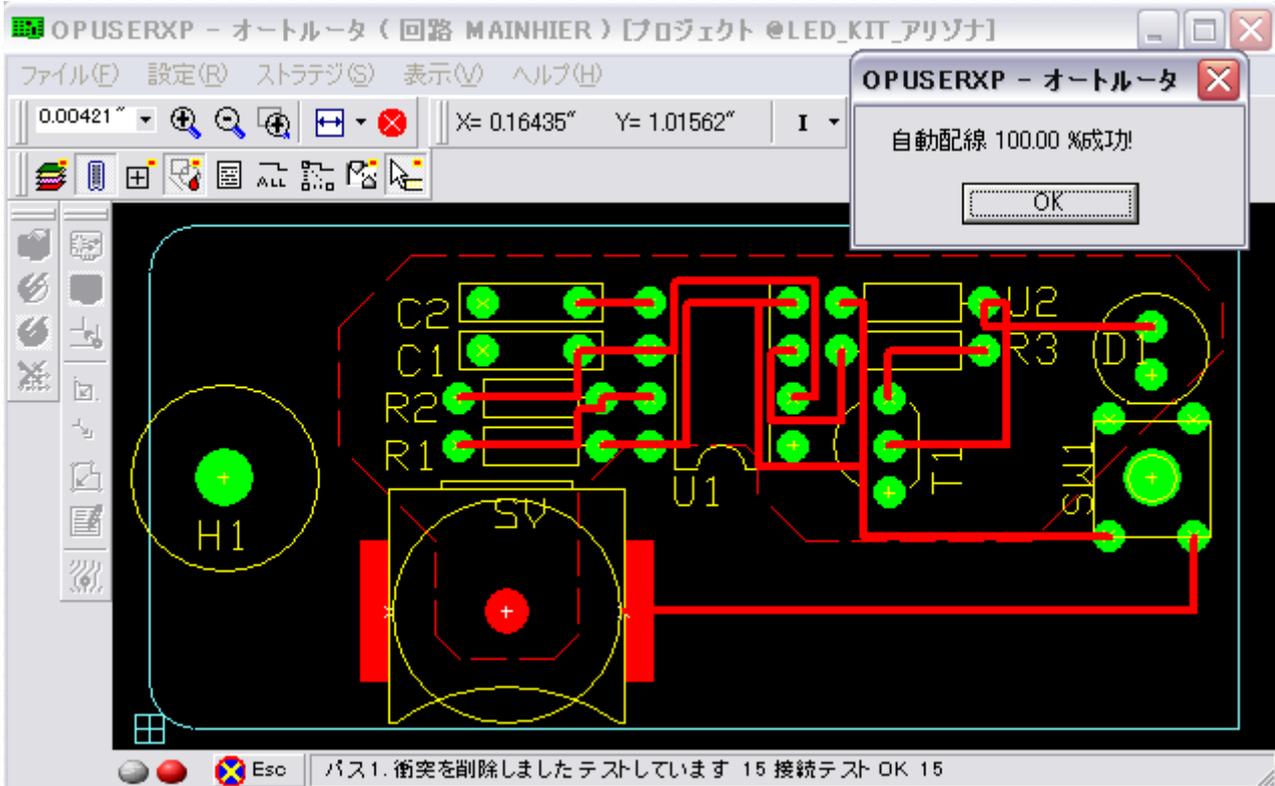
自動配線の設定は“はんだ面”のみを使用、その他の配線コスト、クリアランスはデフォルトのままの設定を使用、グラウンドにはベタを作成した状態で実行します。



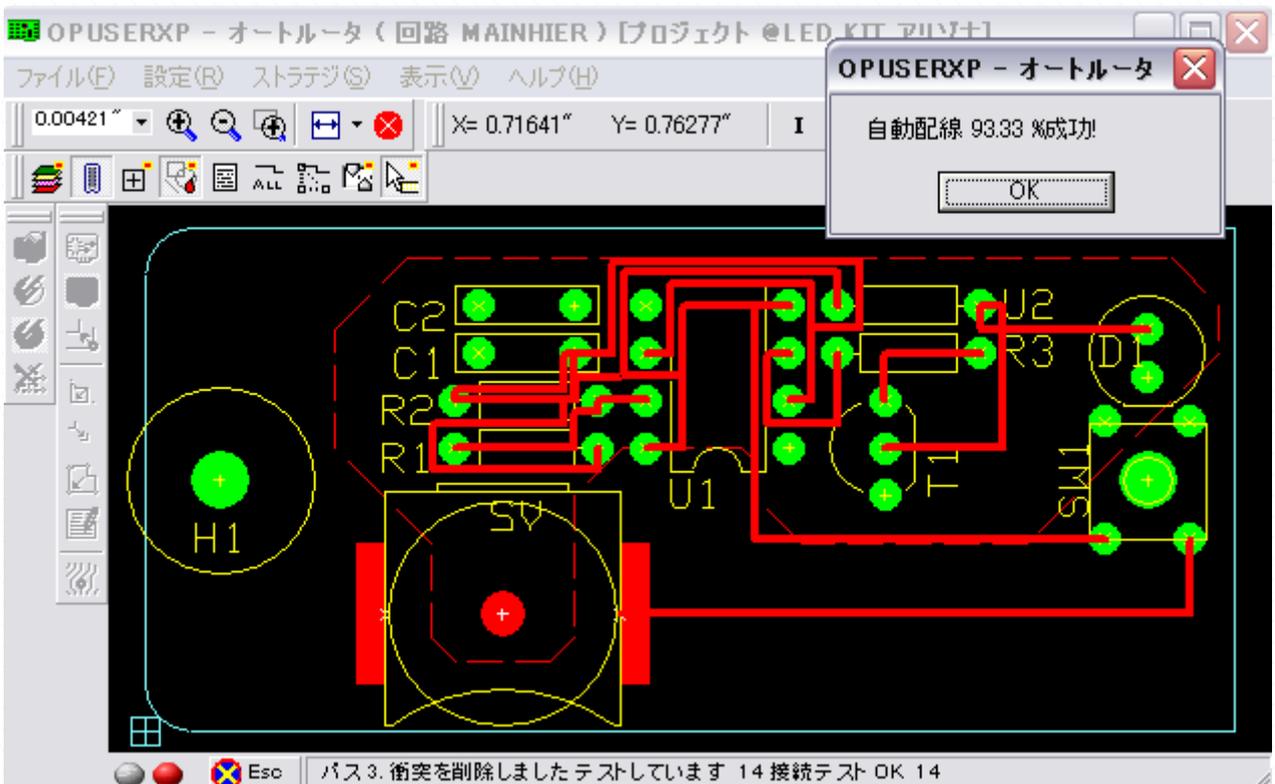
1.0 : 配線方向の比較

はんだ面のパターン配線方向は通常“Vertical（垂直）”優先に設定されています。

“垂直方向優先（レイヤコスト 80%）”

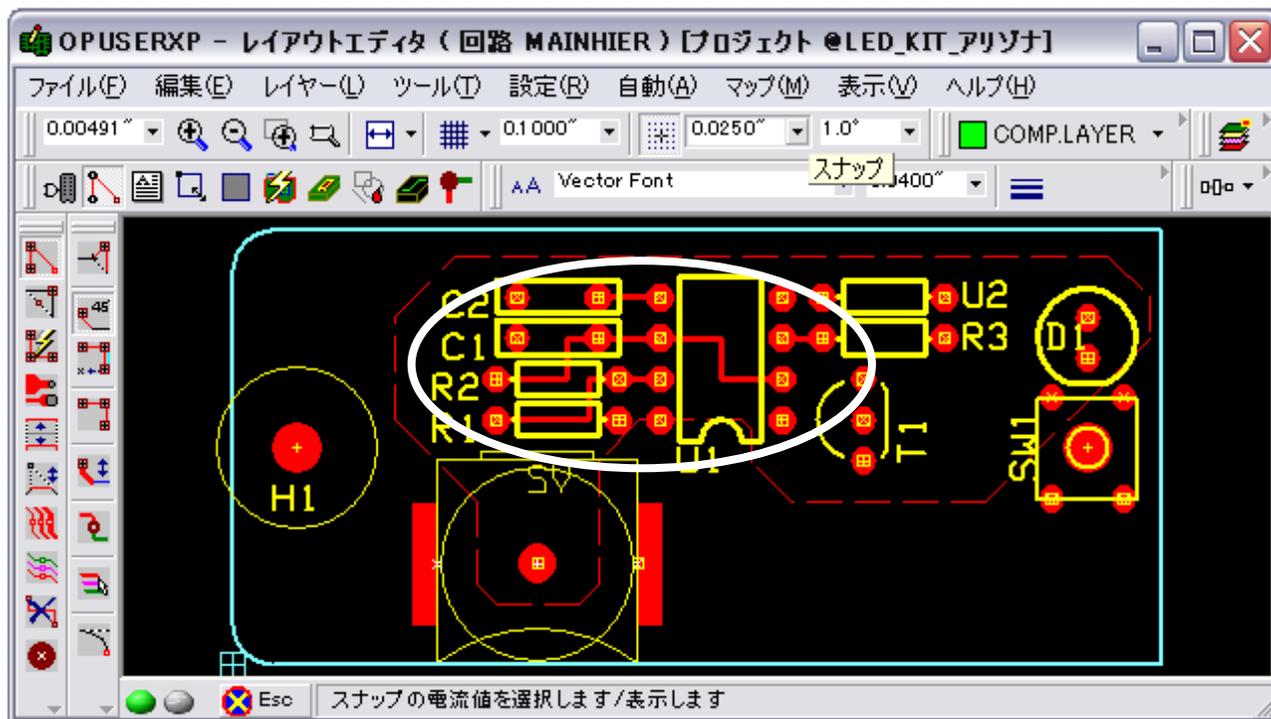


“水平方向優先（レイヤコスト 80%）”

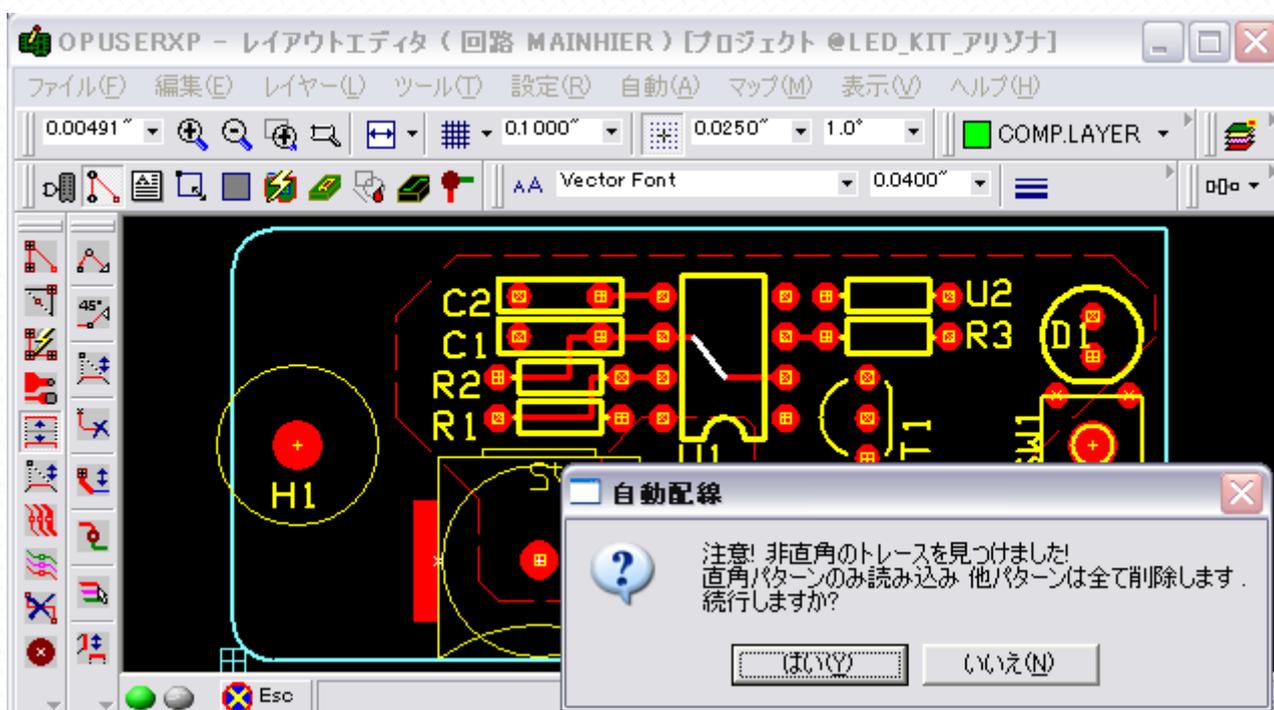


2.0: パターンを作成して実行

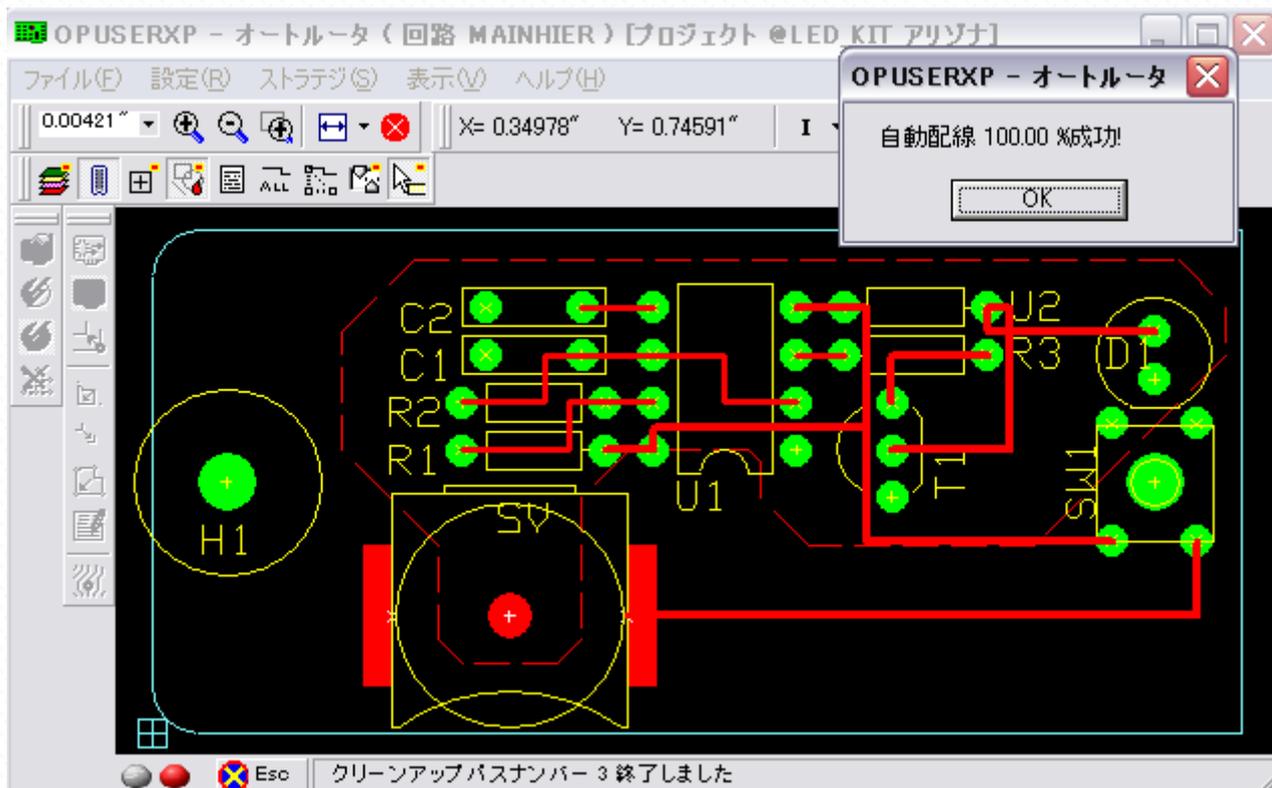
予め、レイアウトエディタにて基板中央付近の配線を作成してアリゾナオートルータを起動します。



アリゾナオートルータへは、直角トレースのみ読み込む事が出来ます。斜めに配線した箇所があると削除されますので、注意して下さい。



“垂直方向優先（レイヤコスト 80%）”



“水平方向優先（レイヤコスト 80%）”

